

平成27年10月13日

渋川市議会議長・石倉 一夫 様

会派・新政クラブ  
代表・入内島英明

## 新政クラブ・視察研修報告

日時：平成27年10月5日（月）～7日（水）（2泊3日）

視察場所：沖縄県・宮古島市及び石垣市

参加者名：茂木弘伸、丸山正三、山崎雄平、今井五郎、山崎正男、入内島英明の6名

視察内容：宮古島市・①環境モデル都市宮古島の取り組みについて

②高齢化社会に向けた対応について

石垣市・①観光PRについて ②地域づくりによる介護予防推進モデル事業について ③石垣市社会福祉協議会の現状について

**1・宮古島市** ・・沖縄本島から290km南西に位置 総面積204.5キロ平方メートル、大小6島からなる。海拔110m概ね平坦地 川が無く生活用水と農業用水は地下水を利用（地下ダムは有名）

（1）環境モデル都市宮古島の取り組みについて

環境モデル都市とは、低炭素社会の実現に向けて、温室効果ガスの大幅削減などへの取り組みを行う都市として、国より認定を受けた自治体のことである。エコアイランド宮古島～いつまでも住み続けられる豊かな島をキャッチテーマとして、行政、事業者、市民、観光客等との連携を図っている。別紙の「環境モデル都市宮古島」の取り組みについて説明を1.4時間受ける。詳細は別紙参照。

（2）高齢化社会に向けた対応について

2025年問題・団塊の世代75才負担増が問題。3人に1人が65才以上、5人に1人が75才以上になる時代が訪れる。沖縄県の高齢者増加率は全国1位となる。しかし、宮古島市の高齢化率は低い。渋川市と宮古島市の人口推移、高齢化率等を比較別紙参照。

**2・石垣市** ・・沖縄本島から約410km南西に位置、八重山諸島の主島 石垣島と尖閣諸島などの13の無人島からなり、その面積は229.0キロ平方メートル。亜熱帯海洋性気候と自然的特性を活用し、日本最南端の文化都市として、農業、畜産業、水産業、観光業を中心に経済活動が営まれている。H26年の観光客は111万人となる。

人口は増加傾向、現在4万9千人、10年後は5万人を推定

（1）観光推進事業について

①石垣島の主要な工芸品・特産品 ②観光客へのPRについて、 ③販路拡大について  
④その他（石垣市商工会との連携・特産品拡め隊について） 別紙参照

（2）地域づくりによる介護予防推進モデル事業について、別紙参照

①虚弱高齢者でも安全にできる体操、 ②虚弱高齢者から元気高齢者まで誰でもが一緒にできる体操 ③住民自身が体操の効果を実感できる体操 ④介護予防の効果が実証されている体操 ⑤いきいき百歳応援講座等々について説明を受ける。

（3）石垣市社会福祉協議会の現状について、説明を受ける。 別紙参照。

以上。

報告者：入内島 英明

